
ポケダン とある設定集

究極神団・零

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポケダン とある設定集

【Nコード】

N7899H

【作者名】

究極神団・零

【あらすじ】

ポケモン不思議のダンジョンとある探検隊の設定集や番外編、裏話などを語っていくつもりです。

キャラ紹介1(前書き)

今回はリュウタ、ピカ、ブラット、プクリン、コウのキャラ紹介です

キャラ紹介1

キャラ紹介

リュウタ（ヒノアラシ）

ポケモン不思議のダンジョン とある探検隊の主人公
人間からポケモンに謎の転生をした
人間だった頃の記憶を無くしている

海岸でピカと出会いギルドへ入門、チーム炎雷を結成

正義感が強い

バトル好き

何故かブラストバーンを使える。その為何やらチート臭がする
時々人や物に触れると目眩が起き過去や未来を見る事が出来る能力
を持つ

ピカ（ピカチュウ）

リュウタの相棒

少し怖がり

海岸でリュウタと出会いギルドへ入門、チーム炎雷を結成

謎の石を持つ

バトルは以外に強くボルテッカーを使える

実は双子の弟が居る

離ればなれになった理由は後々番外編として記載

ブラット（バクフーン）

この世で最強のポケモン

その強さはチート

アルセウス以外の神々に勝利し、神々と親友に

バトル好き

実は小食

リュウタと一バトルして二人を気に入った

プクリンと同期であり親友であり仲間

結構優秀

何やら人間だった頃のリュウタを知っているらしい

一番謎の多い存在

プクリン（プクリン）

最高の探検家

ギルドの親方

実力はブラットに劣るものの計り知れない

空間を無理矢理開く事が出来る

今度は時間を操る為に時々修行に出ていると噂

セカイイチが好物でセカイイチの事でバカにされたりすると性格が豹変する

最大パワーのハイパーボイスは星一つ破壊する力を持つ

リュウタを一発で人間だと見破った

まだまだ謎の多い存在

コウ（ピカチュウ）

ピカの双子の弟

兄と離ればなれになったが輝きの丘で再会、炎雷に仲間入り

離ればなれになった理由は後々番外編として記載
実は実力はかなりのもの
知識も結構ある
誰に対しても敬語で話す

キャラ紹介1 (後書き)

つ、疲れた……

リュウタ

「何をしていた？」

運命の塔五連クリアはキツイ…… (疲)

リュウタ

「……………」

キャラ紹介2 (前書き)

今回はバンとテラです！

キャラ紹介2

リュウタ

「おいバカ」

ん？

リュウタ

「こんな時間に何やってんだよ」

何ってキャラ紹介だけど？

リュウタ

「こんな時間にやるなよ」

別にいいじゃないか。

ほら始めるから離れて離れて。

リュウタ

「流すな(怒)」

バン(バンギラス)

リュウタ達が遠征中に通過したツノ山で出会った。

バトルには自身がありリュウタを追い詰めたがプラスチックバーンにより敗れ、仲間となる。

バンの操る砂は全ての攻撃を相殺する事が出来る。

オリジナル技を多く編み出している。

一人称が我輩と珍しい。

歳は口調より取っていない
後に紹介するテラとのバトルでバリアーを使わせなくするなどその
実力が伺える。
本文では語られていないが過去に悲惨な目に会っている。
それはいずれ番外編として執筆する。

テラ（ミュウツー）

伝説のポケモン。
リュウタ達に手紙を送り、零の島へ呼び出し、戦った。
激戦だったがリュウタ達の力の前に敗れる。
戦闘は流石伝説のポケモンとあって物凄い強い。
バリアーは殆どの攻撃を受け止める程。
テレポートからの高速波動弾は避ける事は出来ない。
その動きはドゴ ー を思わせる。
オリジナル技はバンより多く持っている。
特にサイコボール・EXは半端ない威力を誇る。
過去に悲惨な目にあい仲間や親友達を失った。
以後、仲間を作らず一人孤独に修行して強くなり生きてきた。
だがリュウタ達を見てもう一度仲間や親友を求めるようになり、仲
間となる。
熱い性格。
過去の詳しい話はいずれ番外編として執筆する。

こんなもんかねえ。

リュウタ

「知らん」

だよね

さあ、零の島編も終盤です。

どうか本編の方と共に宜しく御願致します！

キャラ紹介2 (後書き)

番外編のストーリーが思い付かない…………… (泣)

切がああああああ……………

年齢紹介兼お仕置き（前書き）

スランプです（汗）

プクリン

「大変だね」

助けて（汗）

プクリン

「無理だね」

Oh no！（泣）

年齢紹介兼お仕置き

あああああああああああああ――――
！！！！！！

リュウタ

「五月蠅いぞバカ（怒）」

ブラット

「早く更新しろ（怒）」

む、無理……………ネタが……………（汗）

だから気分転換に……………

バン

「つべこべ言わず（怒）」

テラ

「執筆しろ（怒）」

ピカ&mp;コウ

「やりましょうね（怒）」

ちよっ！ロープ！ロープ！

ハア……………死ぬかと思った（汗）

とりあえず君達の年齢をキャラ紹介では書いてないから言っても」

がばどをおおおおおお！！！！！！！

ピカ&mp・コウ

「つべこべ言わない(怒)」「

リュウタ

「それにしても年齢か……………何歳だっけ？」

ブラット

「リュウタは16だろ」

リュウタ

「知らねえよ(汗)記憶無いんだから」

ブラット

「そうだった(汗)俺は20だ」

ピカ

「リュウタって一つ上だったの！？僕15なんだけど……………」

コウ

「ボクも15です」

リュウタ

「悪いかよ」

バン

「まあ落ち着きなさい。我輩は39じゃ」

ブラット

「その喋り方なのに39……………」(笑)

バン

「ほう(怒)」

ブラット

「ごめんなさい……………」(汗)

テラ

「私はいくつだ?」

ピカ

「知らないの?」

テラ

「桁が一つばかり上だからな……………」

テラ以外全員

「……………」(汗)

リュウタ

「ま、まあ気にするな(汗)」

テラ

「無理だ……………」

ブラット

「半分泣いてるし(汗)」

バン

「困ったのう(汗)」

ピカ

「どうすればいいのか……………」

コウ

「分かりませ(汗)」

リュウタ

「作者は執筆させる為に殺っちまったし……………」

ブラット

「字がおかしいだろ(汗)」

リュウタ

「事実じゃないか」

ピカ&コウ

((やったの自分達だけど(汗)(())))

バン

「どっする？」

リュウタ

「愚痴るか」

ブラット

「駄目だろ(汗)」

テラ

「……………（泣）」

リュウタ

「あそこで泣いてるのがいるし（汗）」

ピカ&mp;コウ

「……………」

ブラット

「あの兄弟は揃ってのの字だし（汗）」

バン

「作者この世から消えたし……………」

三人

「……………どうすりゃいいんだ〜!?!?」

リュウタ

「とりあえず本編に戻るか」

ブラット

「それは（汗）」

バン

「……………いっちゃんいかん（汗）」

リュウタ

「……………まあ、戻ろっぜ（汗）」

三人は本編へ帰宅した

おまけ

ブクリン

「僕のもたちこーなー 因みに28だよ」

テラ

「……………(泣)」

兄弟

「……………」

ブクリン

「ともたちの歌を歌います！いくよ」

テラ

「……………(泣)」

兄弟

「……………」

ブクリン

「ともだち」

強制終了

永遠に

〜
完
〜

年齢紹介兼お仕置き（後書き）

スランプ対処法知っている方宜しく御願ひ致します（泣）

お知らせ（前書き）

まあ重大なお知らせではありません

リュウタ

「何だそれ（汗）」

お知らせ

ああ、眠い………

ってそんな事言いに来たんじゃない(汗)

リュウタ

「何するんだ？」

ん〜？

そろそろキャラ投票でも始めようかなって

ブラット

「パクリか」

違う

いらん事言わすな。

眠いんだから

バン

「何故そんなに眠いのじゃ？」

ソウルシルバーを買ってからずっと寝ないでやってるから………

リュウタ

「バカだろ！お前究極のバカだろ！」

ブラット

「俺は今、宇宙一のバカを目の当たりにしている………」

ピカ

「作者さん(汗)」

コウ

「もう手遅れですね……………(汗)」

テラ

「いっそのこと沈めるか」

最後何でだよ(汗)

キャラ投票はマジで始めます。

×切は九月三十日23時59分とさせていただきます。

テラ

「勝手だな」

(汗)

キャラは三人まで投票出来ます

キャラはコラボで出てきたキャラ達以外なら誰でもいいです。

プクリン

「楽しみだなあ」

自分としてはプクリンに一番入りそう(汗)

リュウタ

「その前に入れてくれる人居ないだろ」

………そうかもしれない(汗)

まあ皆さんあの先生の結婚式に行ってるからまず読んでる人なんぞおらん

ピカ

「作者さんは行かないの？」

私は場違いですから。

それに……

バン

「それに？」

………フィルタリング掛けられてさ

ブラット

「あゝ、成る程」

理由は他にもあるしね……

コウ

「他に………ですか？」

うん………

だって自分バナナだもの………

全員

「「 W W W W W W 」」

笑うなあ！

フィルタリングは事実で本当に行けない（泣）

しかも自分のようなバカの塊が行ってもめちゃくちやになるだけ…

……………

なので私はお留守番です

皆さん楽しんでるね1000%……………

キャラ投票待ってます

話内容殆ど変わってる……………

お知らせ（後書き）

話変わってますな（汗）

自分のより他の先生方の話がメインになる自分は何なのだ（泣）

これじゃあ無許可で宣伝してるみたい……………（泣）

リュウタ

「さっさと本編書け」

今は無理（泣）

ほっといて（泣）

ブラット

「重症だな」

ピカ

「キャラ投票待ってます！」

全員

「どうぞ宜しく御願致します！」

切間近(前書き)

波乱ゼヨ

いろんな意味でゼヨ(汗)

切間近

さあ、切まで二十四時間を切ったぜヨ！

全員

「「イエ〜！」」

只今すごい事になってるぜヨ！

あのキャラやこんなキャラに入って予想不可能ぜヨ！

リュウタ

「俺入ってるかな〜！」

ピカ

「僕にも入ってるかな〜！」

コウ

「ボク最近空気気味……………」

ブラット

「なんか結果が恐ろしい気がするぜ（汗）」

バン

「我輩人気あるのかのう」

テラ

「私もだ……………」

結果は未だに分からず！
激戦ゼヨ！

正直ワシ自身も発狂するぐらいゼヨ（汗）

ブラット

「お前は常に発狂してるだろ（汗）」

酷いゼヨ！

リュウタ

「意義無し」

ピカ

「確かに」

コウ

「ですね」

バン

「じゃな」

テラ

「事実だしな、反論は出来ん」

皆して言うぜヨか！？

全員

「「ハイ」」

薄情者共ゼヨ〜！

……………後ろからとてつもない殺気がするゼヨ（汗）

堕ちし魔王

「キャラ投票……………俺様に入れなきゃ……………」

全員

「「出たあああああああああ！！！！！！！！！！」」

原因不明で怒り狂った堕ちし魔王、通称プクリンがこんな時に来た
ゼヨ（汗）

堕ちし魔王

「俺様は全てを創造、破壊する者なり……………。そして全てを統べし
者なり……………」

リュウタ

「イカれすぎてやがる……………」

ピカ

「これ……………本当に親方プクリン……………？」

コウ

「微塵も感じられません……………」

ブラット

堕ちし魔王

「俺様の玩具が皆壊れちゃった……また新しいの探すか……」

キャラ投票まだ受付中

そんな文字が作者の死体に彫られていた

切間近（後書き）

立て看板より

皆全治八十年の大怪我により入院中

堕ちし魔王

「投票待ってるぜ………」

キャラ投票結果発表(前書き)

リユウタ

「遅い」

ちよいとトラブルがゼヨ……………

ブラット

「言い訳無用」

ゼヨ……………(汗)

キャラ投票結果発表

キャラ投票結果発表ゼヨ！

全員

「「イヤツフウ〜！！！！」」

まあ人数少なかったゼヨが（汗）
文句は言わんゼヨ！

いきなり第四位の発表ゼヨ！

全員

「「いきなりかい！！」」

しょうがないゼヨ（汗）

では行くゼヨ！

第四位は二人！

まず一人目は……………アンタゼヨ！

ユクシー

「え？」

残り

「「ええ！？」」

はい、マジで入ってるぜヨ（笑）

ユクシー

「私なんかで……………（汗）」

誰もそんな事気にしないぜヨ

もう一人の発表ぜヨ！

コウ

「ボクですか？」

そうぜヨ

その他大勢

「最近若干空気が四位ねえ……………」

コウ

「……………」

ぜヨ（汗）

気を取り直して……………」

第三位の発表ぜヨ！

なんと、四人も居るぜヨ！

残り

「多いな（汗）」

行くぜヨオ！

まずは……………お前さんぜヨ！

き、気を取り直して……………次行く……………ぜヨ……………

呼ばれて無い者達

「「お……………おおー……………」」

二人目は……………コイツゼヨ

テラ

「私か？」

皆

「「以外な」」

ワシも以外だったぜヨ

次

お前さんゼヨ！

ピカ

「よかつた」

コウ

「やりましたね兄さん！」

皆

「「良くないから」汗」

ピカ

「選ばれないよりはましだと思っけど……」

今さらっと酷い事言っただぜヨ（汗）

残り

（（ピカ、後でしめる（怒）））

第三位最後ゼヨ！

カモン！

リュウタ

「お、俺かよ？」

ピカ

「一緒だね。リュウタ」

テラ

「斬っても斬れぬ絆、か……………」

残り

「一番以外だ」

主人公の癖に人気あんまし無いみたいゼヨな(笑)

リュウタ

「バカがもつと目立たせてくれねえからだろうが(怒)ブラストバ
ーン！(怒)」

リュウタ

「だってなあ……………」

ピカ

「だよね」

テラ

「だな」

コウ

「……………」

フリーザー

「グスツ（泣）」

ユクシー

「……………」

はい最後行くぜヨ
第一位の発表ぜヨ！

ブラット

「うをい」

皆

「「「やっぱりな」「

結論

バクフーンという存在は強さだけでなく人気もチートみたいゼヨな

ブラット

「なんで誰も祝福してくれないんだ？」

全員

「「……………」

ま、まあ…………

ブラット

「薄情者〜！（泣）」

どっか行っちゃまったゼヨ（汗）

リュウタ

「いいのか？一位をあんな扱いにして」

…………

とりあえず読者の皆様に発表があるゼヨ

一位になったブラットに関連した何かをやるつもりだと思っっているゼヨ

バン

「例えば？」

短編とかまだネタが浮かんで無い過去編とか……………そんな感じのものと考えているゼヨ

テラ

「という事らしいな。読者の皆、意見等があるなら感想欄、又は作者にメッセージを送ってもらえないだろうか？宜しく頼む」

どうか意見等がある方宜しくお願いするゼヨ

ピカ

「何になるのかなぁ」

コウ

「分からないですね」

まあ何はともあれ、ブラット、一位おめでとうゼヨ

ブクリン

「ねえ、僕には入ってないってどうゆう事？」

そ、それはゼヨな……………（汗）

ブクリン

「何故だ……………」

ゼヨオオオオオオオ……………

キャラ投票結果発表（後書き）

皆様キャラ投票ありがとうございました

此からも宜しく御願致します

お知らせ

えー

俺がこのなるうに來て半年が経とうとしています

そこでちょいとした企画を考えました

くなんやいきなりやけどおっばじめるでクイズ大会

単にクイズ大会ですw

ジャンルはポケモン

ポケモンに詳しい人詳しく無い人どちらも大歓迎！

自分でクイズを考えてきたら其は即刻採用し、問題として出題します

×切と開催日は二月上旬頃を予定しております

出場希望の方はメッセージ、自分のメアドを知っている方はメール

でもオツケーです

皆様、ふるって御参加下さい！

……偉そうでごめんなさい(汗)

新春

と呼ぶには遅すぎるが新春と呼ばせて戴こうという訳でポケモン不思議

……………お待たせしました

遂にポケモンクイズ大会の開催です

まあまだクイズの方は執筆出来てないんですが(汗) さっさとや
れバカタレ

ええ

明日で半年になりますよ

なら明日にすればいいじゃないかって？

無理です

我慢出来ませんでした 消えたまえ

とゆー訳で……………出場選手達を……………ご覧下さい

W
)
I
)
W

新春 と呼ぶには遅すぎるが新春と呼ばせて戴こうという訳でポケモン不思議

……遂にやってきました！

ポケットモンスター、オールクイズ大会！

リュウタ

「イエイ！」

ブラット

「ヤッフウ」

テラ

「フハハハハ！」

零

「わい」

三人

「どわあ！」

ん？ どうしたハナタレ三人よW

零

「？」

リュウタ

「なんでコイツが居るんだよ！」

ああ、ある事情だねw

零もメインパーソナリティーとして頑張ってもらっからw

零

「宜しくね」

三人

(調子狂うし……………プクリンに似てる……………(汗))

因みに、今大会は……………なんと!

超豪華ゲスト陣が勢揃い!

リュウタ

「なにい?!」

ブラット

「何だと?!」

テラ

「またまた」

零

「」

驚いたら負けw

……

三人

「「……豪華だあ!!」」

零

「？」 分かってない

あい! w

超豪華なのらー!

ではそろそろ……ゲスト陣様達の紹介に入りますよう!

四人

「「おお〜!」」

まずは……エントリーN0.1!

春野ツバサ様より……ピカチュウ! ナエトル! ミライ! キ
モリの登場だあー!

ピカチュウ

「遂にキタわね」

ナエトル

「うう……………、緊張するう……………」

ミライ

「凄いねキモリン！」

キモリン

「キモリン言うな（怒）」

またまた

嬉しいくせにw

ツンデレトカゲ

「なっ！んなわけあるか！／＼／」

テラ

「トカゲ、顔が紅いぞw」

トカゲ

「喧しい（怒）」

テラ

「ほう……………（ー）（ー）、此処にあるテープはトカゲ、ミライへの愛
」n

トカゲ

「ヤメロオオオオオオ！！（汗）」 テラの口を塞ぐ

なんかもおカオスな空気w

ピカチュウ

「なんかワタシ達空気ね……………(汗)」

ナエトル

「特に僕がね……………(汗)」

キャラ数が半端無いので次のキャラ達の紹介に移ります

エントリーNO.2!

シルバー様より……………カイル！ マテイス！ ライト！ ルリ！

カイル

「……………ゆっくり部屋で寝たいんだが」

マテイス

「寝たら減給な」

カイル

「ふざけんな(怒)」

ルリ

「師匠……………(汗)」

ライト

「……………(汗)」

なんか笑街道に走ってくれそうなjokersの面々！

果たしてライトとルリだけで何処まで勝ち進めれるのか！w

ブラット

「カイルとマティスが邪魔者扱いw」

さあまだまだいきやす

エントリーNo.3！

轟様より……………ケン！ ココロ！ 疾風！ 瞬！

ケン

「多っ！（汗）」

ココロ

「ここがあたしの輝くステージ……………」

疾風

「……………なんかココロが妄想に浸ってるな」

瞬

「……………すっごい不安になってきました……………。ポケモンじゃない人（？）も居るから……………」

零

「？」 アンタだよアンタw

さあまだまだキャララッシュです

エントリーNO.4!

ポケモン小説こそは執筆してはいないものの隠れポケマニアの風の
双剣使い様より……………ツバサ！ ナギサ！ イナズマ！ ワカバの
登場だあ！

ツバサ

「無駄にテンション高いな（汗）」

イナズマ

「確かに（汗）」

ナギサ

「暑苦しい（汗）」

ワカバ

「其は言い過ぎじゃあ……………（汗）」

因みにポケモンの知識の方は？

ツバサ

「作者に徹夜で叩き込まれたから……………多分大丈夫だ！」

多分かいw

ワカバ

「でも私達だけ原作が違いますから……………やっぱり……………」

よくみなさいw

その不安は消え去るw
ほれwあれを見よw

ツバサ組

「「あれ？」」

零

「「やっほ」」

ツバサ組

「「ああ〜!!」」

テラ

「成る程、この為の彼奴か」

そゆこと

では次!

エントリーNo.5!

露麒麟様より……………ライト! グリーン! フォース! ボルト!

ライト

「……………帰ってくれ」

ボルト

「何故だ?!」

グリーン& amp; フォース

(だって絶対足引っ張りそうだもん……………)(汗)

さあ次!

エントリーNo.6!

ウィンデル様より……………ヒナタ! カズキ! スカイ! レイ!

ヒナタ

「久しぶりねリュウタ!」

カズキ

「久しぶり!」

リュウタ

「よお!」

スカイ

「俺がこの大会をぶっちぎってやるぜ!」

レイ

「少し静かに……………)(汗)」

色んな意味でスカイに期待しておきましょうw

では次へ

エントリーNo.7!

キヤット様より……………リュウ！ バシャーモ！ サーナイト！ ウルフ！

リュウ

「なんか派手だな……………（汗）」

バシャーモ

「確かに……………（汗）」

サーナイト

「二人共！ もっと楽しもうよ！」

ウルフ

「元気だねえへ」

ブラット

「てかりュウとウルフ敵同士だろ？」

リュウ、ウルフ

「「休戦協定中」」

ブラット

「なるるw」

全員何処まで突き進めるのか?!
予想が全くつきません!

さあ次です!

エントリーNo.8!

ヨリシオン様よりリザレの登場です!

リザレ

「うわぁ……………なんかいつぱい居るなぁ……………」

因みにリザレは今回一人なので私のキャラのピカ、コウ、バンがリザレのチームに入ります

ピカ

「頑張ろうね!」

コウ

「はい!」

バン

「全力を尽くす」

テラ

「姿が見えんと思ったたら……………」

意気込んでますね〜w

では次い！

エントリーNo.9！

鳳仙花様より……………レン！ ミズキ！ 白！ 蒼雷！

レン

「ふえ……………いっぱいいますね……………」

ミズキ

「自分……………優勝したるやないか……………」

白

「がんばって下さい。私なにも分かりませんので」

蒼雷

（俺いらねえだろ……………、明らかに数合わせだろ……………）

因みに蒼雷はポケモンではありません

まあでも龍駄目とは一言も言っていないからねえw

全員

「「オイ！」」

まあ置いておきましょうw

さあラストです！

エントリーNo.10！

karyu様よりリュウ！ アヤノ！ セナ！ ユウナ！

リュウ

「なんか豪華だな。なあアヤノ」

アヤノ

「だねー」

ユウナ

「んにゅ〜、セナア〜」

セナ

「ユウナ！ やるからには優勝よ！」

あの伝説の四人が来てくれました！

リュウタ

「……………わざわざこんなバカな企画に来てくれたのか(汗)」

ユウナ

「この子新種のポケモンかな？ 写真写真」

零

「？」 アンタの事だからなw

やはり所見は誰しもがそう思ってしまうようですw

さあ出場10組が全員揃いました！

果たしてどのチームが優勝するのか！

そしてどんな問題が飛び出しどんな(珍)回答が飛び出すのか？！

(珍) 回答メインなのはツッコミ禁止

其ではクイズ大会……………

……………は次の投稿で

全員

「「え?!(汗)」」

新春 と呼ぶには遅すぎるが新春と呼ばせて戴こうという訳でポケモン不思議

さあさあさあ

この十組のキャラ達がどんな(珍)回答を出してくれるのか?!

内のキャラ達は何処までバカタレなのか?! W W

なんかキャラの名前が被っているのも気合いでなんとかしていくぜ W

因みにポケ旅のボーマンダ達が出てないのは本編でコラボ真つ最中だから忙しくて来れませんでした

まあ亀よりは速いスピードで執筆していきますんで宜しくお願
致します!

クイズ大会本編その1 え（前書き）

お待たせしました！

クイズ大会本編です

まあごちゃごちゃしすぎて分からないと思いますが（汗）

どぞ！

クイズ大会本編その1 え

さあお待ちせしました！

クイズ大会本番ですよ

全員

「「イエーイ」「」 何故かVサイン

今大会のルールを説明します！

早押し形式………ですが、問題を読み終えてからお答え下さい

理由は普通の早押しクイズだと一方的すぎる場合がありますので、
其の防止の為と思って下さい

全員

「「ハイ！」「」

因みに一問毎に交代していきますのでご注意ください。そしてお手付きは
ありません

其では早速いきましよう！

最初の回答者は、ピカチュウ、ケン、ライト（ライトの旅）、カイ
ル、ツバサ、ヒナタ、リザレ、レン、ウルフ、リュウ（ポケ神）で
す！

ブラット

「解答者多っw」

リュウタ

「第一問！ カントー地方（FR・LG）で野生のゴローンが持っているのは、かたいいし。」

それでは、ホウエン地方で出て来る野生のゴローンは何を持っている？」

テラ

「一問目なのに微妙な問題だな（汗）」

（ピンポン）

おっと！

最初にボタンを押したのは……………リザレ！

リザレ

「あ……………え……………（汗）」 興味本意で間違えて押しただけ

さあ答えをどうぞ！

リザレ

「……………ゴローンの石？」 W

リュウタ

「残念！ リザレ選手不正解！」 キャラ変わってるW

ゴローンの石はダンジョンですねえ
でもその発想力が凄い。侮れせんねえ

テラ

「確かにな」

(ピンポーン)

おっと次は……………ケンだ！

ケン

「ゴロゴロ石」

リュウタ

「ケン選手、不正解です！」

テラ

「ゴロゴロ石……………なんかありそつで無いんだよな(汗)」

(ピンポーン)

おっとお……………？ 解答者は……………リュウだ！

カイル

「負けた……………」

リュウ選手、答えをどうぞ！

リュウ

「かわらざるの石だろ」

リュウタ

「……………正解！」

リュウ

「幾度となく持ってたの見てきたからな」

やはり踏んできた場数やキャリアが違う！

ピカチュウ

「かわらずの石ってナニ？」

テラ

「かわらずの石とは持たせたポケモンはいくらレベルが上がると永遠に進化しないというアイテムだ。因みに のポケモンに持たせて卵を産ませるとその のポケモンの性格を遺伝しやすくなる」

レン

「ふえー……………」

ヒナタ

「流石リュウ大先輩……………やるわね。だけど負けないわよ！」

まあ交代するんだけどw

ライト

「俺答えて無いぞ〜！」

ウルフ

「僕は後で活躍するからいいもんね……………クハハハ……………」

なんかウルフが暴走しそうですねえw

さあ次です！

次の解答者は……………ナエトル、ココロ、フォース、マテイス、ナギサ、カズキ、ピカ、ミズキ、バシャーモ、アヤノ！

ブラット

「だから多たってw」

リュウタ

「第二問！ 進化に関係する「いし」をすべて言え。」

ブラット

「鬼だろこれwww」

(ピンポーン)

おっとお？！

誰か押したぞ？！

ナギサ

「へ……………？ あたし？」

ナギサ選手だー！

ナギサ選手、答えをどうぞ！

ナギサ

「んーと……………水の石、炎の石、雷の石……………ピカピカの石？」

リュウタ

「残念！」

ナギサ

「ええー?!」

ブラット

「明らかに石の数が少ない(汗)」

テラ

「それよりピカピカの石ってなんなんだ?(汗)」

ピカ

「呼んだ?」

呼んでないからw

(ピンポン)

おっと!

ミズキ選手!

ミズキ

「水の石、雷の石、炎の石、光の石、闇の石、目覚め石、まんまる石、かわらずの石……やる?」

リュウタ

「正解……!!」

ミズキ

「こんな簡単やろ……………」 ホントはハリセンでツッコミたいのを我慢してる。その為ちらちら背中からハリセンが……………」

テラ

「因みに進化の石は…………… まあ説明しなくても大丈夫だよな」

アヤノ

「私は大丈夫だけど……………、あの人達が…………… (汗)」

ナエトル

「進化の石って…………… なに？」 えw

フォース

「雷の石しか知らない」 まだまし

ココロ

「まんまる石なんて聞いたコト無い！」

カズキ

「ボタン押せなかった……………」

バシャーモ

「銃の種類なら分かるんだが…………… (汗)」 怖い事言つな

ブラット

「放置でいいだろもうw」 貴様あ！

……………ま、いつか

全員

「「オイ！（汗）」」

ミズキ

（次から絶対しばき倒したるわ……………）

気を取り直して次！

回答者はミライ、疾風、グリーン、ライト（jokers）、イナズマ、レイ、コウ、白、リュウ（ポケモン救助隊）、ユウナ！

ブラット

「何時まで続くんだこの長く多い解答者紹介はw」

リュウタ

「第三問！ ファイアレット・ルーフケルーン F・Rのななしまにあるロケット団倉庫に入るためのパスワードは「またまたタマタマ」と後一つは何か？」

グリーン&ライト&疾風

（（分からないって此は……………））

イナズマ

「確かうちの作者がなんかぶつぶつ言ってたような……………」

（ピンポーン）

おおおお？！

この難問に挑戦する勇氣ある選手は……………レイだああ！

レイ

「いやボタン押してん……………(汗)」

さあ答えをどうぞ！ 問答無用

コウ

(ホントにいいんですか……………？(汗)) 犯人

ブラット

(いいんだよw) 真犯人

レイ

「……………タツツーあしつったー」

リュウタ

「……………残念！w」 某クイズ番

組みもん風

レイ

「だって押してん」

しかし(ある意味)ナイスチョイスw

レイ

「……………(汗)」

リュウ

「いや問題が難しいすぎるって……………」

てかりュウはなんでベレッタとデザートイーグル持ってきてんのか

な？（汗） え

リュウ

「ん……………？ あ（汗）」 おい

ミズキ

「天然か！」 我慢の限界らしくハリセンでしばく

リュウ

「きゅー……………」 気絶

おおーっと！

流石のリュウ隊長でもダイヤモンドで作られたハリセンの攻撃には耐えられなかったー！！w なんかM4を構えてたやつ（おい）

ユウナ

「んにゅ〜、普通なら死んでるよ〜」

ミズキ

「……………峰打ちやから」 なにw

ハリセンじゃ峰打ち出来ないよねww

ブラット

「すげえなコイツ……………」（汗）」

白

「もきゅもきゅ……………」 なんか食べてる（もきゅもきゅは効果音）

零

「ヒントだよ」 ある化石ポケモンの名前だよ」 「なんか久々w

イナズマ

「思い出した」

(ピンポン)

おお！

ミライ選手！

答えをどうぞ！

ミライ

「カブトはとぶか」

リュウタ

「正解！」

ミライ選手、よゆーの笑みを浮かべています

ミライ

「だって私のモチーフFR・RGだもん」

ブラット

「なるw」

テラ

「流石私の妻、この程度のもの」

キモリ

「誰がお前の妻だ(怒)」

テラ

「おんや〜？ 焼き餅ですかキモリ選手？(ー)(ー)」

キモリ

「っ?! 違う！ 断じて違う！」 顔真っ赤

ミライ

「ええ〜？ 違うの〜？」 ナイス

キモリ

「お前も悪乗りするな(怒)」

テラ

「ほうほうwならこのテープに録音された内容は嘘なのかね？」

「(ー)(ー) どころからカセットテープを取り出す。てか誰だよお前。なんのキャラだよ

キモリ

「だあ〜！ 其はヤメロオオオー！ー！ー！ー！」

テラ

「hahaha」

ライト

「なんですかこれ……………(汗)」

ココロ

「輝けない……………（泣）」 目的違う

ユウナ

「んにゅ〜 この子可愛い〜」 写真撮ってる

零

「〜」 写真撮られてる

なんか二人だけ更なる違う世界創っちゃってますねえ W

さあ次です！

次なる解答者は……………キモリ、瞬、ボルト、ルリ、ワカバ、スカイ、バン、蒼雷、サーナイト、セナ！

ブラット

「だから多いっつーの W W」

リュウタ

「第四問！ ロケット団・アクア団・マグマ団・ギンガ団のそれぞれ
のリーダーの名前を言え。」

（ピンポーン） 速い W

スカイ選手！ 答えをどうぞ！

スカイ

「生麦生米生卵！」 なんで W

ミズキ

「アホか！」 ハリセンで r y₁₁

ミズキ、変わりにツッコミ、ありがとうw

スカイ

「きゅー……………」 絶讚気絶中

スカイ、見事な珍回答でしたw

さあ t

(ピンポン)

おおーつと?!

ボルト選手が挑戦だあー!

ボルト

「……………ドナルド・マクドナルド」

ミズキ

「だからアホかあ!!」 ry

ミズキのダイヤモンドハリセンが唸る! w

ボルト

「きゅー……………」 ry

瞬

「……………(汗)」

珍回答の連続にスタジオ爆笑の嵐w

まともに答えを言う人はいるのかー?!

(ピンポーン)

おっところでサーナイト選手!

サーナイト

「サカキ、アオギリ、マツブサ、アカギ……………」?

リュウタ

「正解!」

遂に真面目な解答!

サーナイト選手に感謝です

サーナイト

「え? え?」 なんかおろおろ

ミライ

「どうしたのキモリン?」

キモリン

「なんでもないし……………キモリン言っな(怒)」

ルリ、ワカバ

「……………なんですかこの絡みは(汗)」

蒼雷

「……………俺ボタンが押せないんだが(汗)」 真面目に頑張ろうとする奴

バン

「……………ファイト」

セナ

「私もどうしようも……………（汗）」

蒼雷

「……………」

さあ此で一巡しましたw

次の問題は

次回の投稿を待て！

全員

「ええええええ?!」「」

クイズ大会本編その1 え（後書き）

えメールが使えなかったから続きは書いてませんよ（泣）

超特急で書かねば………

では！

クイズ大会その2つ (前書き)

(ボロボロ)

えー、大変お待たせ致しました(汗)

クイズ大会その2です(汗)

今回は衝撃展開が待ち受けています(汗)

ごめんなさいーっ!(汗) バカタレ

クイズ大会その2つ

皆忘れた頃にやってくる第二部！ ーころあ

リュウタ

「遅すぎるだろ(怒)」

反省はしてます…………… (汗)

ブラット

「反省は後でいいから始めようぜー」

皆様

「「ソーだソーだ！」」

テラ

「勝手に進行するか」

え…………… (汗)

ブラット

「因みに第二部という事でルールが若干変更されるぜー！」

皆様

「「なんで…………… (汗)」」

あのー勝手に進めん…………… 袋詰め

ブラット

「今回からは……………もう一巡するまで長すぎるから参加登録者40名全員で早押ししてもらうぜ！ まずスタート地点に立って貰いやす。んで少し前方にあるスイッチがあるからそれを押して答えて貰うー！」

全員

「はあ……………？」 「ついていけない

もががもがむがぁー！ー！ 袋詰め中

ピカ、コウ

「「暴れないの」「電磁波でビリビリにする

テラ

「要するに早押しサバイバルか？」

ブラット

「そゆこと」

皆様

「「嬉しそうに言っなァー！！」「

ブラット

「じゃあ始めるぜー！

第五問！

ルギアは何タイプ？」

全員

（か、簡単だ……………（汗））

テラ

「早押しスタート！」

リュウ

「貰ったあ！」

テラ

「おっとポケ神のリュウ選手、早いスタートダッシュ！」

ミライ

「よし 行くよキモリン」 キモリを掴む

キモリ

「ちよつとまて」

ミライ

「キモリンロケット！」 ボタン目掛けて投げる

キモリ

「ぐああああー！」 物凄い勢いでボタンまっしぐら

テラ

「なんだとw」

ブラット

「ミライ式ロケット砲が発射されたあ！w」

ミズキ

「行かせへんで！」 ハリセンで打ち返す

キモリ

「ぶへっ！」 顔面強打で空の彼方へ

テラ

「ホームランww」

ブラット

「ナイスショットw」

ミライ

「あちゃあ」 何故か嬉しそう

リュウ

「ただk」

キモリ

「……」 気絶中でリュウとごっつんこ

ブラット

「二人共、乙です」

テラ

「トカゲ、イイキミ」 W W

ユウナ

「ゴ〜ゴ〜」

零

「ぶ〜ん」 ユウナを乗せて飛んでる

全員

「「そんなのあり?!」」

ワカバ

「アイスありますよ!.....?」 何故に疑問系

零

「アイス〜」 急カーブ

ユウナ

「んにゅ〜 ユウナも欲しい〜」 目的がクイズからアイスへ

ブラット

「あれま(汗)」

テラ

「弱点あつたな.....(汗)」

セナ

「ちょっとユウナ?! 私の分も置いといてよね?!」 え

全員

「「そつちかい！」」 ずっこける

ウルフ

「皆バカだねえ」 司会席に座ってる

ブラット

「のわぁ！」

テラ

「いつの間に……………（汗）」

ウルフ

「だって空いてたじゃん」 アンタもアイス食ってんのか

ブラット

「まあ確かにその席は彼処で袋詰めになってビリビリ痺れてる奴の席だけだよ（汗）」

テラ

「最早真面目にクイズじゃなくなって来てるな……………（汗）」 ぐもつとも

カイル

「この隙に寝るか……………」 おい

マティス

「……………寝るな（怒）」 何処からかハンマーを取り出してゴルフ

の要領で打つ

カイル

「んがっ?!」 なんか肋からバキッと折れた音がしながらスイツ
チへ飛んでいく

ケン

「ナイスショット! (汗)」

ライト

「師匠〜! (汗)」

ライト

「400Y越えてるなありゃ…………… (汗)」

ブラット

「てかライトライト紛らわしいw」

テラ

「皆様、カイルに……………黙祷」

カイル

「せんでいい! (怒)」 テラを地面に埋める

テラ

「……………」 びくびくびく

マティス

「なんだ生きていたのかw」 ちょ

カイル

「なんだよその殺したかった的な発言は(怒)」 てか大丈夫なのか？(汗)

ルリ

「誰か止めて下さい……(汗)」 SOS

全員

「無理です！(汗)殺されます！(汗)」 全力で拒否

ブラット

「さあこないぞいぞの間……全員アイストラップに引っかかっていますねえw」

テラ

「なんてこつたw」

残りの皆さん

「アイス最高」 「もっ目的忘れちゃってます

ブラット

「最早クイズでもなんでもねえw」

テラ

「ただの忘年会（汗）」 「もともと

リュウ

「ウルフ。アイスの追加を持ってきたんだが……」 なにやっとな
じゃ

ウルフ

「いいね」 「おいww

ブラット

「……仲良すぎだろコイツ等w」

テラ

「やはりアレだな……敵とはいえ……うん……」 なんなんだ

リザレ

「お……オレ……走るのダメ……」 へばってる

バン

「無理はせんていい（汗）」 介護中

ブラット

「やはりリザレには拷問級のレベルだったか（汗）」

テラ

「リザレ選手、それでもリタイアは選ばないみたいですね」 キヤ
ラが定まってるない

アヤノ

「リュウは……ホントになにやってるの……（汗）」 リュウを引
き摺ってる

リュウ

「アヤノ……痛いって……」 既にボロボロ

ブラット

「やはり嫁さんは強いなW」

テラ

「旦那……ファイト……」 ただ見守ってる

アヤノ

「ほら起きてリュウ。アイス食べに行くよ」 だから目的が違うW

リュウ

「いやクイズ」 唯一まともな人

アヤノ

「なにが言った……？」 なんか凄まじいオーラが

リュウ

「な、なにも言ってますん（汗）」

ヒナタ

「どうしましょう……」 傍観者その1

カズキ

「此がホントの修羅場……（汗）」 傍観者その2

スカイ

「んーんー！」 何故か縛られてる

レイ

「……」 精神統一中

ブラット

「平和ですな、このチームは」

テラ

「私を撃ち破ったヒナタとカズキが居るからな。よく周りを見てい
る」 無駄に気合い入れている

ボルト

「んむー！ むむんむー！」 「イツも縛られてる

フォース

「サヨナラ」 「ボルトをナイスシュート！

ボルト

「……………」
「気絶したまま……………」スカイとごっつんこ

スカイ

「……………」
「気絶

ブラット

「あれまあ（汗）」

テラ

「レイはよく無事だな……………」（汗）」

レン

「あの……………」アイス下さい……………」
小聲

ツバサ

「ほら」
アイス渡す

レン

「……………」
上機嫌

ブラット

「……………」クイズ大会。意味無くない？」
あんたのせいだからな

テラ

「ルール変えたからこんなことになったんじゃないのかね？」 無
駄に偉そう

ブラット

「……………(汗)とりあえず、オネエホウオウとおバカルギアがこの後
ろで待機してんだがよ……………」 え

テラ

「帰って貰え」 即答

疾風

「……………お茶が美味しい」 W W

瞬

「そうですね……………」 たしなんてる

ブラット

「もう答え言うか……………。正解はエスパークタイプとひこうタイプだ」

全員

「……………それぐらい分かってるから」 W W

ブラット

「……………(汗)……………」 たじたじ

テラ

「もう全員優勝でいいか……」　なんでだww

も……が……んむ……　まだ袋詰めされたまま

ブラット

「さて、此処からは皆様から応募頂きました、クイズ問題の発表です」　ちよつとまって

Q・ヤミラミ・ミカルゲに有効な技は何タイプ？

Q・もっとも体重が重いポケモンは何？

Q・メリープの体毛は夏になると伸びすぎて全て抜け落ちますが、元通りになるまでにかかる日にちは？

Q・ポケットモンスター 赤緑青で、クチバシティのジムリーダーであるマチスを倒すと使えるようになる秘伝技は何でしょう？

Q・アルセウスが使用できると言われるプレート、さてその種類は何枚？

Q・ポケモンの中で一番重たいとされているポケモンは
グランドンですが、一番すばやさの高いポケモンはどれでしょう？

Q・ポケモンの技【怨念】とはどのような効果を持つ？

Q・一番最初のポケモン、赤、緑、青、ピカチュウにはくさタイプ
のポケモンは一匹しか存在しない
YESかNOか

Q・金銀バージョンは初めてタマゴが発見されたシリーズで有名だが、
タマゴから生まれたばかりのポケモンのレベルは？

Q・ポケモンを捕まえるとき、ABボタンをこするけど、あの行為
の意味はあるのか？

Q・36 この数字が表すポケモンは何？

特性「かんそうはだ」は何タイプのダメージを多く受けるようになるでしょうか？

別名「技のデパート」と言われる程覚える技が豊富なニドキングが唯一覚えられない技のタイプは？

すべての技の中で、最も優先順位の遅い技は？

Q・特性「テクニシャン」の効果は？

此処からは選択問題です

Q・フシギダネが卵技で覚えないのは？

- 1 ロケット頭突き
- 2 リフレクター
- 3 神秘の守り
- 4 リーフストーム

ヒノアラシがレベルアップで覚えないのは？

- 1 火炎放射
- 2 スピードスター
- 3 噴火
- 4 フレアドライブ

ウィンディがレベルアップで覚えないのは？

- 1 噛み砕く
- 2 炎の牙
- 3 しんそく
- 4 吠える

次のうち天気に関係ある特性は？

- 1 呼び水
- 2 天の恵み
- 3 乾燥肌
- 4 貯水

次のうち特性物拾いで拾えない技マシンは？

- 1 ドラゴンクロー
- 2 気合いパンチ
- 3 地震
- 4 眠る

次の特性を持っているポケモンが二種類以上いるのは？

- 1 フラワーギフト
- 2 適応力
- 3 あとだし
- 4 蜜集め

この中で、最も攻撃が低いポケモンは？

マニョーラ

バシャーモ

キングラー

ブースター

ボスゴドラ

ブラット

「以上が応募された問題だ。」

テラ

「こんなくだらない企画に参加してくれた事を、本当に感謝する」

ブラット

「まあ……クイズ大会は此で一旦終わる訳だが……」
勝手に終わらせるな

テラ

「またなにか機会があれば、また企画を無理矢理作者にやらせよう
と思っている」 えええええ

ブラット

「因みに問題の答えは……作者がバカやらかして忘れちゃったんだ
とよ」「いやいやいや

テラ

「作者は人間としてのレベルが低いからな。」

ブラット

「因みに……なんかこの後、クイズ大会の変わりになんか……バト
ルをするらしいぞ」

テラ

「何をするのかはまだ聞かされてないが……まあ作者の事だ。しよ
ーもない企画だろうな」

ブラット

「まあまあそう言わずに。フー訳だ！ ー様は楽しみにしてくれ
！」

テラ

「それでは……次の更新で、また会おう」

クイズ大会その2つ (後書き)

流石に脳の処理機能が限界を迎えました……故にこんな形に……(汗)

ただどこのクイズ大会を開いた事に後悔はありません

皆様の期待を裏切るような形になってしまったので……急遽、このメンバーで何かのバトル大会的なものでも続きとして書く事にしました(汗)

皆様本当に申し訳ございません(泣)

クイズの珍回答って本当に大変という事を改めて実感しました(汗)

テレビは凄いなあ……ホントに…… 逃避すなバカタレ

一周年記念について重要なお知らせ

え〜、お知らせがございます。

リュウタ

「んだよ？ ろくに本編更新してねえ癖に」

ブラット

「そつだぜ？」

うぐっ（汗）

ま、まあ、今は良いじゃないか（汗）
今は。あはははは（汗）

バン

「……………で、知らせてどんな事かのう？」

テラ

「さっさと吐け」

まあ落ち着きなさい（汗）

なんとなんと……………

来週つーか今週の8月13日…………といえは？

ブラット

「と言えば？　と言われてもなあ……あ？」

リュウタ

「……なんか聞き覚えがあるぞ」

そらそうだろうなあ。

何故なら……君等ポケダンを投稿してから丸一年だものWW

テラ

「なん……だと……？」

バン

「ほお、それはめでたいではないか。」

ピカ

「所詮一年経つても……」

コウ

「ボク達の扱いは変わりませんもんね……」

（兄弟は無視！）

そう。一年。

という訳で……

一周年記念を開催いたします！

リュウタ

「イェーイ！」

ブラット

「で、肝心の内容は？」

フフフ……驚くなかれ。

なんとなんと……

かくれんぼだ！

全員

「「……は？」

かくれんぼ。

バン

「……かくれんぼ……だと……」

テラ

「何故にかくれんぼ(汗)」

だつてさあ……

他の作者さん達の一周年記念とかはオリジナルアイテムとかバトルとか学園者とか人気投票とかじゃん？

こんな皆が昔にやった遊びなんて誰っっちゃ書いてないもの。

だからかくれんぼ。

鬼ごっこじゃ誰か死傷者出そうだしね 小声

ピカ

「ルールは？」

ふつーのかくれんぼのルール。

コウ

「ふつーのかくれんぼですか……」

イエソド

「人数少くないです？」

リュウタ

「お前何時から其処に(汗)」

イエソド君……

無論ゲスト募集するから安心しなさいww

ブラット

「……まじでか?!」

もちww

マジで参加者募集するよんww

バン

「腕がなるのう……」

テラ

「フ、楽しみだ……」

では詳しい参加方法を……

出場させたいキャラを三・四人書く

イエソド

「これだけです？」

他に何かあるのよさ(汗)

因みに参加表明はメッセージでお願いします。

ピカ

「期限は？」

8/12ギリギリで×切

コウ

「短いですね(汗)」

だって13日だもん(汗)

要望があるなら勿論延ばすけどさ。

リュウタ

「……………まず、集まるのか？」

……………なんとかなるさ

ブラット

「おいしいいい！ 集まらなかったらどつすんだよおお？！」

そんなときはボーちゃん達呼ぶからww

テラ

「……かくれんぼになるのか？（汗）」

ま、集まる事を期待しましょ。

では参加方法をおさらいします

- ・ 出場させたいキャラを三・四人書く
- ・ 参加表明はメッセージにて
- ・ ×切は8/12ギリギリ（要望があったら延期）

バン

「参加の方、宜しく頼むぞ。」

ピカ

「一緒に楽しもうよ！」

皆様の参加、お待ちしております！

一周年記念！ ポケランドキドキかくれんぼ始動！（前書き）

お待たせしました（汗）

ただの（・・・）キャラ紹介ですよW W

全員

「「怪しい……」（汗）「「

まあとりあえずどうぞ！

一周年記念！ ポケダンDキドキかくれんぼ始動！

さあ遂にこの時がやってまいりました。

ポケダン連載一周年記念企画特別編、『ポケダンDEキドキかくれんぼ』を開催したいと思います！

ポーちゃん

「いえ〜い」

ピカ

「うわぁ!?!」

コウ

「ななな何でいるんですかぁ?!」

ポーちゃん

「来ちゃった」

ブラット

「来ちゃった じゃないだろうがよ（汗）」

まあまあ落ち着きたまえ（笑）

ポーちゃんは今回のかくれんぼの解説だからww

イエソド

「なんでもありですね」

気にすな気にすな（笑）

バン

「それと一つ……今回のタイトルが何処かで見たことが……」

そりゃそうだろうなあ（笑）

リュウタ

「……作者よ、まだ俺達しか居ねえぞ？」

慌てるな若者よ（笑）

直に来るさ。ほら、噂をすれば……

ピカチュウ

「……何もないわね」

ナエトル

「なんか逆に怖いんだけど……」

ミライ

「まあまあ 楽しもうよ」

キモリ

「お前はお気楽すぎだ（汗）」

ブラット

「お 彼奴等は」

春野ツバサさんの所の主人公+相棒組ですな

テラ

「フ……。よく逃げずに来たなトカゲ。」

キモリ

「あ？ 誰が逃げるだど？（怒）」

テラ

「貴様しかいないだろうキモリン」

キモリン

「誰がキモリンだコラ（怒）」

リュウタ

「まゝた始まったよ（汗）」

内輪ネタだからねえw

わかる人にしか分からないw おい

ブラット

「お前な……（汗）」

では暫くこの二人の言い争いをご覧下さいww

ピカ

「いや紹介を……」

テラ

「なんだ？ キモリンが本名じゃないのか？」

キモリン

「当たり前だコラ（怒）」

テラ

「そうか……。なら貴様の本名はツンデリンだな。」

ツンデリン

「誰がだあああ！（怒）」

テラ

「何を言うか。現れては常に口に木の枝を加えてる癖に。」

ツンデリン

「アニメの奴じゃねえよ！ どれだけ前の話だよ！」

テラ

「貴様も貴様でよく分かったな。こんな一昔前の話。」

ツンデリン

「悪いかよ（怒）」

テラ

「誰も悪いとは言っとらんぞ」 「ぐちやっ

バン

「いい加減にせい（怒）」 「踏み潰してる

爺ちゃんにより強制終了されましたw w

ピカチュウ

「見てる分には面白いけどね（苦笑）」

ミライ

「確かに（苦笑）」

ナエトル

「笑いすぎてお腹いたいよ（笑）」

ツンデリン

「お前等な……（怒）」

ささ、次行こうかw

リュウタ

「急だな……（汗）」

ライト

「なんで駆り出されなきゃいけないんですか……（汗）」

カイル

「俺に聞くなよ（汗）俺だって無理矢理駆り出されたんだよ（汗）」

ミゲル

「……ドンマイ（笑）」

マティス

「帰るとか面倒とか言ったら減給な」

カイル

「鬼か……（汗）」

え、シルバーさん所のカイル、ミゲル、マティス、ライトですねw

ピカ

「半分脅しに見えるんだけど……（汗）」

コウ

「同感です兄さん……（汗）」

ブラット

「おゝい！ 此方だぜ〜！ 手を振る

カイル

「彼処みたいだな」

ミゲル

「なんもねえな（汗）」

リュウタ

「よ」

ようこそいらっしゃいましたw

どうせならjokersのメンバーで来ればよかったのに(苦笑)

ライト

「急に来れなくなったから急遽……」

入れられたのな(笑)

バン

「我輩はバン。宜しくの」

マティス

「俺はマティス。jokersのリーダーだ」

イエソド

「二人とも凄い似てますです。」

確かに似てるw

ピカチュウ

「凄いもの背中に背負ってるわね(汗)」

カイル

「大事なもんだからな。常備してるのさ。」

ナエトル

「このマントカッコイイなあ」 「マントに触る

カイル

「気を付けるよ? 色々と仕込んで)……)あるからな」

ナエトル

「えっ(汗)」

ミライ

「狩られそうな予感が(汗)」

皆、安心しなさい。

被害にあうのはその兄弟だけだからw w

ピカ・コウ

「えええっ?!(汗)」 以後二人一緒の時は雷兄弟と表記

雷兄弟以外

「なら安心(笑)」

雷兄弟

「酷っ!」

ま、うちの兄弟はほっというてw

ミゲル

「そのコメントが一番酷いな(汗)」

次行きますしよか次w

テラ

「……人影ならぬポケ影が見える」

おおお……確かに。
……む？ あのメンバーは……

ミレイ

「あそこみたいね。」

ソルト

「やっと見えた あぶつ?!」 転けた

レイ

「なんで何も無い所で転ける(汗)」

スカイ

「ある意味バカだな(笑)」

ソルト

「だあー!! 何時もの災難だよもぉー!!」 やけくそ

ピカ

「スカイさんが居る……って事は……」

そう。ウィンデルさん所のレイ、ミレイ、ソルト、スカイだよ。

カイル

「……今まで絡んだ事ねえからどう接触すればいいんだ(汗)」

レイ

「俺とスカイは前回のスペシャル企画で出会ってるんだが……」

マティス

「……はっ（汗）確かに（汗）」

何の話をしているw w

ミレイ

「なんかあたしだけ場違いのような……」

コウ

「そんな事はありませんよ（汗）ミレイさんも立派なゲストですよ。」

「

ソルト

「なんかアイツに似てるなこのピカチュウ……。常敬語とか……」

全員

「「確かに。」」

そこ、内輪ネタ使わないw w 人の事言えないアホ

テラ

「……ぬ、誰かが空間を渡って此処に向かって来ている。」なん
で分かるんだ。

リュウタ

「空間？（汗）」

あゝ、誰か分かったw w

(ブウン) 空間が開く音

ジュン

「やあ。ここでは初めましてだね」

炎雷メンバー

「ああ〜!!」

やっぱり君だったかww

イプシロン

「俺も居るぞ」

ライト

「本編更新せずになにやってるのかと思ってたら………こつこつ事だったのか」

ブラット

「お ライト」

もうお分かりであろう、アブソルさん所のジュン、イプシロン、ライトだよw

バン

「イプシロン……?」

イプシロン

「コードネームだ。気にするな」

バン

「名前の事はあんまり気にはならんが……そのでかい鞆はなんだ？」

イプシロン

「これか？ 秘密兵器だ」

バン

「……（汗）」

神の力を持つ人間が居るから……楽しい事になりそうw

キモリ

「狩られる確率がったな（汗）」 小声

テラ

「確実にな」 何故かほくそ笑む奴

……イプシロン。その鞆の中身……アレ（・・）だろ？ 小声

イプシロン

「ご明察」

……盛り上げてくれよw

イプシロン

「任せる（笑）」

ジュン

「……………」 ぶるぶる震えてる

ピカ

「どうしたのジュン？」

ジュン

「……………珍しいポケモンばかり……………。捕まえた……………。捕獲したい……………。ハンターの血が騒ぐ……………！」 え

ちよww

ジュンww

何を考えているww

ジュン

「だって！ 伝説のポケモンに御三家、進化させる事以外では入手出来ないバンギラス、更にはあんな所に小説違うけど色違いのボーマンダまで居るんだよ?!」 熱くなってきた

ボーちゃん

「?????’」 よく分かってない

まあ捕獲出来るものならしてみれば？

次のゲスト達がお見栄になったもの……………wwww

ジュン

「え……………」

リュウ

「あーっ！ お前等！」

ジュン&イプシロン

「あ………(汗)」「

ウルフ

「なんでまた………(汗)」「

ホーク

「というか……俺達敵同士が一緒に居ていいのか……？(汗)」「

スコット

「そういうものは気にしたらなんとやら。ではなかったかな？」

ホーク

「………(汗)」「

もうお分かりでしょう、キャットさんの所のリュウ、ホーク、スコット、ウルフです。

ブラット

「いやあ………久しぶりだなあ………」

ピカ

「だねえ………」

コウ

「ですね………」

こら、そこ思い老けないの(笑)

リュウ

「丁度いい。あの時の借りを返させて貰うぜ。」 愛用の銃を構える

ジユン

「それは此方の台詞だよ。」 サブマシンガンを構える

イプシロン

「俺も居るんだぜ？」 鞆からスナイパーライフルを取り出す

全員

「「ちよつとまってえい！！（汗）」」

暫くお待ちください

なんとか鎮圧出来た……（汗）

リュウタ

「いてて……（汗）」

あの三人こそ混ぜるな危険。だねえ……（汗）

おっと、次のゲストを紹介せねば……

フル

「おい……って何があった？（汗）」

グレイス

「皆無事かしら？（汗）」

ゲイル

「さあ……？　そこにピカチュウが二匹倒れてるけど……」

雷兄弟

「……」

ああ、その兄弟は無視しててもいいよ。

フル&グレイス

「酷っ！（汗）」

ブラット

「なあ……彼奴等って……」

テラ

「……そのようだな。あのフリーザー……」

おっと、忘れる所だった。

樹氷さん所のフル、グレイス、ゲイルだよ。

テラ

「やはりな……」

フル

「俺達初対面だよな？ 宜しくな」

リュウタ

「此方こそ宜しくな！」

……うちのへたれフリーザーとはえらい違いだなw

バン

「確かに……（汗）」

イエソド

「もうゲストはいないので？」

いや……まだ一組居るんだが……

あ、きたきた

ブラック

「遅くなった。すない」

ホワイト

「……なにこの状況……（汗）」

フリーズ

「いや聞かれても（汗）」

リュウタ

「作者……誰だ彼奴等？」

初対面だから無理もない。

ブラックさん所のブラック、ホワイト、フリーズだ。

ブラット

「……なんか絡みにくいな（汗）」

まあ気にすんなってww

さて、これで全員揃ったし……始めますか！

全員

「「おお〜！」」

但し次話を待て！

全員

「「え」（汗）」」

一周年記念！ ポケタンドキドキかくれんぼ始動！（後書き）

如何でしたかな？

序盤からカオスでしょうw w

ブラット

「カオス過ぎるわ（汗）」

リュウタ

「武器所持て（汗）」

まあまあw w

武器持ちの彼等が一番盛り上げてくれるからねw w

バン

「……恐ろしい（汗）」

テラ

「風穴出来るかもな……（汗）」

ま、楽しみにしてて下さい！

ドキドキかくれんぼ、ルール説明（前書き）

ただのなんて事はないルール説明です

まあ、鬼が決まりますがね W W W W

ドキドキかくれんぼ、ルール説明

え、それではまず、場所を移動したいと思います。

リュウタ

「え？ 此処じゃねえのか？」

此処はただのワープポイント。

ブラット

「なんだワープポイントk……ええええええ？！」

それじゃ、ワープw

(ヒュン) (ワープ音)

さあ到ちゃ

ぶふうっ！

なんかがのし掛かられる

ミライ

「あww」 のし掛かった奴一人目

マテイス

「いてえ……………（汗）」 二人目

ホーク

「……………なんか踏んでる気がするが……………」 三人目

……………気がするじゃなくて踏んでるんだっつーの（汗）
重いんだから速く全員退いて（汗）

リュウタ

「なあ……………ここ……………何処だ？」 キョロキョロ見渡す

ジュン

「……………ジャングルみたいだね。いかにも何か出そうだけど」

スコット

「それは興味深い。ホーク君、着いてきてくれるかな？」

ホーク

「なんで行くの前提なんですか（汗）」

イプシロン

「速く説明してくれねえか？」

ソルト

「そつだ。速く のわぁ！」 何も無い所で転ける

スカイ

「相変わらずドジだなお前は（笑）」

ソルト

「ドジじゃないって前から言ってるだろ……（怒）」 わなわな

まあまあww

それじゃあ説明……をする前に、ボーちゃん。

ボーちゃん

「皆、アイスだよ」 全員分出す

フル

「お、サンキユ。」

ウルフ

「……有り難く貰ったか」

ブラック

「ありがとうよ」

キモリ

「冷たいのは苦手なんだが……」（汗）

ナエトル

「我が儘言っちゃダメザマスよ！」

ピカチュウ

「ちょナエトル?!」（汗）

ああ、さっきのワープの間に事故って何かがあったんだな（笑）

ブラット

「笑い事じゃねえだろ（汗）」

ナエトル

「なにか文句あるザマス？」 中々の迫力

バン

「ザマスって……何時の時代なんだ（汗）」

リュウ

「そういうアンタも十分何時の時代の口調してる癖に(汗)」
確かに

さて、皆アイスは貰ったかな？
貰った事を前提で始めるよww

テラ

「作者、その前に……雷兄弟が居ないんだが……」

ああ、どうか違う場所に飛ばされんだろうな。まあ気にするなww

全員

「おい！(汗)」

その頃

コウ

「に、兄さん……寒いよ……(汗)」

ピカ

「ここ何処……？(泣)」

コウ

「看板がある……え？雪崩山……？」
極寒の地

ピカ

「誰か助けて下さあああああい！……！！」（泣）
」

全員

「……（汗）」「全部映像で見てた

ま、ルールを説明するから、よく聞いててよw

全員

「放置した！（汗）」「

え、まず始めに、ここはプクリンのギルド地下三階です！

全員

「え？！（汗）」「

今回の為だけに特設しました（笑）

そしてルールですが……

鬼は三人。
鬼に選ばれた人は制限時間内に捕まえた数が多い人が優勝。
鬼に選ばれなかった人は制限時間内を逃げ切った人が優勝。
複数の場合は全員優勝ですww

バン

「で、鬼はどうする？」

皆さつきボーちゃんから貰ったアイスを見て下さい。
アイスに当たりと書いてる棒を持つてる人が鬼ですww

ブラット

「おお〜！ 斬新だな！」

鬼になった人は^{ポケモン}挙手して下さい。

スコット

「私だ」 鬼一人目

バン

「……言った傍からか（汗）」 二人目

ゲイル

「うん……………」 三人目

リュウ

「…………爺ちゃんチームだ(汗)」

ホワイト

「ある意味恐ろしい…………(汗)」

ピカチュウ

「嫌な予感しかしないのはワタシだけ?(汗)」

ナエトル

「同感(汗)」

キモリ

「右に同じ(汗)」

グレイス

「…………鬼がある意味怖い(汗)」

さて………… ワープ

リュウタ

「さ、作者？（汗）」

……さあ、ゲームはもう始まってますよ！
皆隠れて隠れて〜！ 解説席に移動してた

ボーちゃん

「速く逃げないと捕まるよ〜」 いつの間にか解説席にいた

スコット

「ほっほっほ。昔を思い出しますなあ」

ゲイル

「子供の頃はよく遊んだもんだよ……」

バン

「我輩達のカ……若い衆に存分に見せてやるかのう（ニヤリ）」
怪しく目が光る

スコット&ゲイル

「（ニヤリ）」 此方も怪しく目が光る

鬼以外

「に、逃げろおおおおおおお……！！（滝汗）」 全
力疾走

これは楽しみだなあ……WWW

ポーちゃん

「だねえ」

ジュン

「色んな意味でね」

のわあ！（汗） 転ける

ジュン

「暫くここでゆっくりさせてもらおうよ」 ワームホール開いて来た

……（汗）

ま、何はともあれ……かくれんぼ、スタートだ！

ドキドキかくれんぼ、ルール説明（後書き）

次回こそ、かくれんぼ本編ですww

ある意味恐ろしい鬼三人から逃げられるのかww

因みにゲイルは見た目が爺ちゃんという事でww

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7899h/>

ポケダン とある設定集

2010年10月23日02時27分発行